

安平・厚真行政事務組合から

収集された「ごみ」はどこで どのように処理されているかご存知ですか？

今年には北海道洞爺湖サミットが開催され、地球環境が大きなテーマとなつていきます。安平・厚真行政事務組合では少しでもごみ処理をはじめとする環境問題に目をむけていただくためにも、関係する情報を機会あるごとに発信して行きたいと考えています。

私たちが毎日出している家庭ごみや町内事業所からの搬入ごみは、平成十九年度実績で四、六二六トンとなつており、安平町が三、二〇四トン・厚真町が一、四二二トンの内訳となつています。

ところで、毎日出されるごみはどこでどのように処理されているのか考えて見たことはありませんか、意外と気に留めず見過ごしているのが現実ではないでしょうか。ごみ処理の流れを知り、リサイクルを促進するためにも適正な分別に心掛けましょう。

今回お知らせする内容は

① 図で見るごみ処理の流れ

出されたごみがどこへ、そしてどのような中間処理や最終処理がされているか、その流れについて図で分かりやすく説明します。

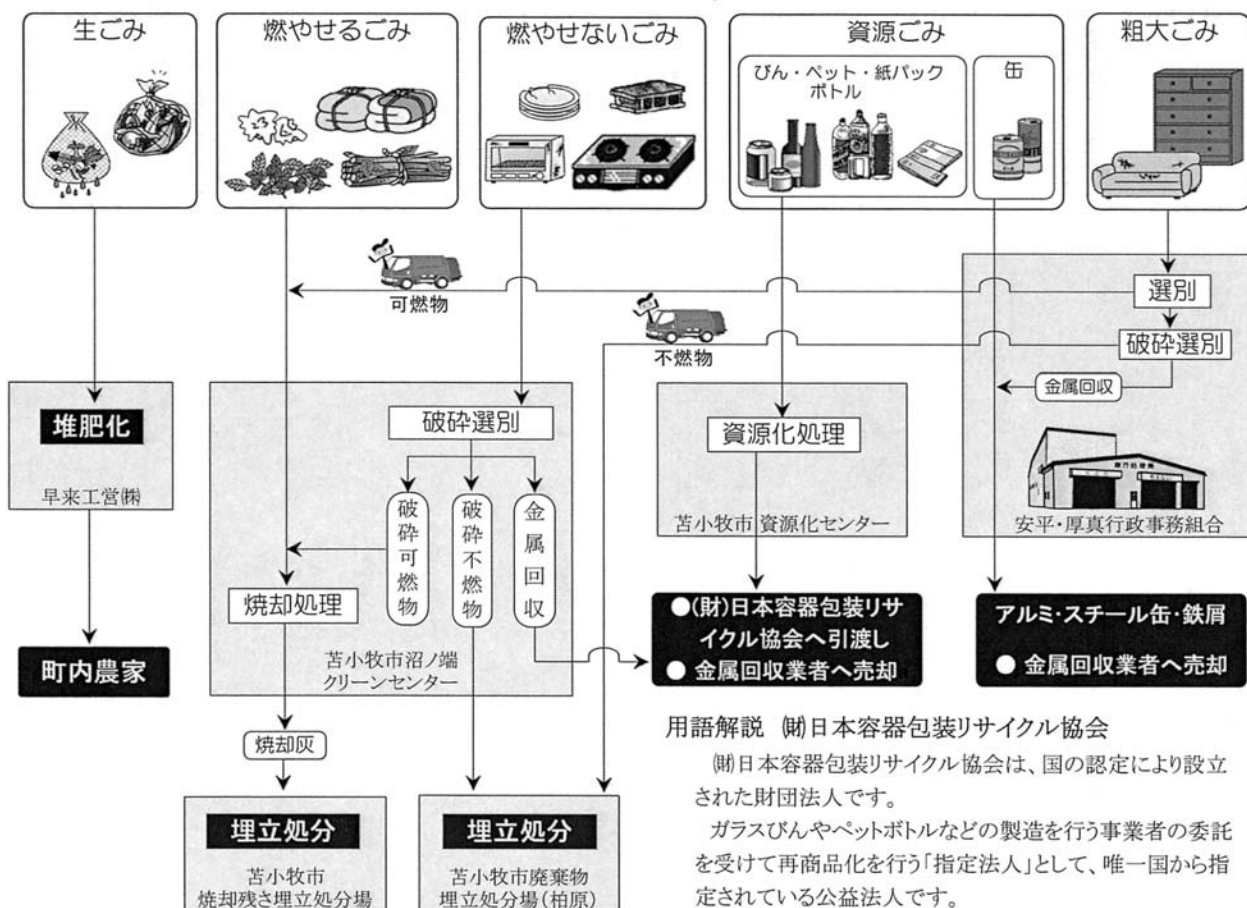
② ごみ処理施設の現状

組合の塵芥（じんかい）処理場、民間の堆肥化施設、苫小牧市の各種ごみ処理施設について紹介します。



ごみ処理の流れを説明します。

- 家庭系ごみはステーションから収集されます。住民が直接ごみ処理場に持ち込むこともできます。（持ち込まれたごみは、苫小牧市の処理場に搬送されます）
- 粗大ごみや事業所系のごみは、直接ごみ処理場に持ち込まなければなりません。



用語解説 (財)日本容器包装リサイクル協会

(財)日本容器包装リサイクル協会は、国の認定により設立された財団法人です。

ガラスびんやペットボトルなどの製造を行う事業者の委託を受けて再商品化を行う「指定法人」として、唯一国から指定されている公益法人です。